

---

# ~ Ragnarok ~

宮田健志

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

～ Ragnarok ～

### 【コード】

N0592B

### 【作者名】

宮田健志

### 【あらすじ】

時は現代。平凡な日常の裏で、『世界を構築する力』を奪い合う争覇が始まろうとしていた。その戦いは『神に因んだ能力』を得た選ばれし者により行われ、最後に勝利した者のみがその力を手に入れることが出来るという。その争いに参加せざるを得なくなつた一人の高校生の少年とその仲間達。それぞれ過去に闇を持つ彼等は、この戦いの中で何を失い、何を得ることが出来るのだろうか。神々の黄昏が、幕を開ける

## prologue

『戦争』。

全ての大罪が辿り着く結末。かつては神々までもが犯した過ち。決して絶えることのなかったそれは常に、或る者の勝利と引き替えで無際限に人身御供を生み出していった。

その哀しき事実は何時の時代も然り。

隆盛には及ばずとも尋常な日々の中にあつたであろう町は、既人が住む事など到底出来ない有様となつていた。最早薪炭としての役割しか存在せぬ住居は囂々と燃え、混凝土造りの建物までもが大破している。その光景はまるで、神々の黄昏　ラグナロクを思わせた。

天災に遭おうともここまでの惨事にはなり得ないだろう。

生物の存在を許すまじと広がりゆく猛火。紅蓮の天鷲絨に包まれてゆく、町であつたモノ。消え逝く平温、死に逝く露命。

そんな地獄に如何なる奇跡が在つたのであるうか。そこには一人の少女が佇んでいた。

顔は煤で汚れ、彼方此方が破れている服の隙間からは無数の擦り傷が見える。致死量の怪我は見当たらないが、この状況ではいずれ他と同様に無惨に焼け死んでいくのであるう。勿論少女もそれは理解している筈だ。

しかし、そんな死と隣り合わせの、ただただ苦しいだけの世界で、

少女は、

歌っていた。

死を間近にした少女は此の悲運に対して愁嘆もせず、原因である顔も知らぬ誰かに慷慨しているわけでもなく、歌うことしか知らないかのように、その澄んだ声で静かに旋律を奏でていた。

いつかは喉も爛れ声も出なくなるであろう。だが戦場に響くそれは、まるで終わりなどないかのように、いつまでも流れ続けていた。

それは、

懺悔でもなく、

祈祷でもなく、

自らの運命を悟った少女の、最期の座興。

まるで咲くことしか知らぬ花のように、

まるで舞うことしか知らぬ蝶のように、

終焉を迎えるその場所で、

歌い続けていた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0592b/>

---

~ Ragnarok ~

2010年11月22日22時51分発行